

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成11年2月1日 第44報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	190		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	60		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	200		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	220		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	10		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	260	31.3	75.3
(珪) 珪藻綱	430	51.8	20.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.4	1.5
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	14.5	2.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	830	総体積	7.38E+05
種 類 数	9	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は *が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Stokesia</i> sp.	40

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	20

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

動物プランクトン第1優占種



***Stokesia* sp.**
(ストケシア)
繊毛虫類

個体の腹側は平らであり、密に繊毛が生えている。体の周縁部に比較的長い繊毛を持っている。繊毛虫の仲間では、大型の種類である(個体の長さ100~200 μm)。南湖において春季に観察されている。

コメント:植物プランクトンは、珪藻のホシガタケイソウやヒメマルケイソウ、および黄色鞭毛藻のホソヒダサヤツナギなどがおもに観察されたが、その数は比較的少なく、総細胞数も減少傾向が認められた。動物プランクトンは、繊毛虫のストケシアが40個体/lで最も多く、次いでワムシのハネウデワムシが20個体/lであった。